事業所名：株式会社　山本造園土木　グループホーム　茶々の里

目標達成計画

作成日：平成　26　年　10　月　15　日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】　注)「項目番号」の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。

優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	入居希望者あるいは在宅ケアをされている家族に対してホーム行事に招待する機会を作り、入居前からの馴染みの関係作りに取り組む。また、介護の相談を聴けるよう関係を作っていく。	入居希望者（待機者）あるいは在宅ケアをされている家族に対して入居前からの馴染みの関係を作る。	入居希望者（待機者）あるいは家族へ定期的に連絡しながら状況確認の他に介護相談やホーム行事参加を呼びかけ顔なじみの関係を作っていく。	24　ヶ月
2	4	運営推進会議に利用者の参加や利用者家族の参加が継続してできるよう体制を作っていく。家族全員に会議内容や様子を伝えたり、家族の意見を伝達する方法を検討していく。	運営推進会議へ利用者と利用者家族が継続して参加できる体制を作る。	運営推進会議に利用者と利用者家族が参加できるよう数名の方が交互に参加して負担軽減を図ったり送迎対応をする等工夫する。 家族全員に議事録を送付し会議の内容や様子を伝えていく。事前に家族の意見を聴き会議内で伝達していく。	24　ヶ月
3	20	文字を書けない方も増えており年賀状を送る機会が途絶えている。今後も理念の継続のために、ご本人にできる範囲の年賀状を作成し馴染みの方との関係性を継続していく。	手紙のやりとりを継続しホームにいても馴染みの方との関係が続く。	ご本人に出来る範囲の年賀状を作成し馴染みの方との関係継続する。	12　ヶ月
4	35	土砂災害危険区域になっていることもあり、火災だけでなく地震、水害等の災害時に備え防災計画を作成し地域の方との連携を強めていく。昼夜問わず利用者が避難できる方法を身につける。	災害時に備え地域との協力体制を築く。昼夜問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につける。	防災計画の作成。地域の方との訓練を行い、ホーム内の構造や避難経路などの再確認を行う。夜間想定の避難訓練を増やし夜勤を行う職員全員が夜間訓練を行うよう体制を作る。	24　ヶ月
5					ヶ月